令和8年10月30日(金)

未来(みらい)への扉(とびら)

高等特別支援学校　支援部　第185号



「 直心是道場(じきしんこれどうじょう) 」

日々、子育てに向き合い、子どもたちの成長を温かく見守り、支えてくださっている保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。
そして、学校生活の中で、楽しいことばかりでなく、時には不安や悩み、思いどおりにならないことに向き合いながら、毎日を一生懸命過ごしている生徒の皆さん、よく頑張っていますね。
本当にお疲れ様です。

今回は、私が大切にしている言葉を一つ紹介したいと思います。

『直心是道場(じきしんこれどうじょう)』

これは、「素直で真っ直ぐな心こそが、学びや成長の場となる」という意味をもつ仏教の言葉です。
維摩居士(ゆいまこじ)と光厳童子(こうごんどうじ)のやり取りに由来します。

光厳童子(こうごんどうじ)が、あるとき、「このように騒がしい場所では修行が出来ない。どこか、静かな場所はないだろうか」と維摩居士(ゆいまこじ)に尋ねたところ、

維摩居士は、「直心是道場」と答えました。

光厳童子は、きっと特別な場所を思い浮かべていたのかもしれません。
静かで、整えられた場所。修行にふさわしい、どこか遠くの場所です。
しかし、維摩居士が示した「道場」は、特別な建物や場所ではありませんでした。

素直な心で物事に向き合い、学びたい、成長したいという気持ちがあれば、いつでも、どこでも、日々の暮らしそのものが「道場」になるというのです。

朝、家族と交わす何気ない言葉。学校で友達や先生と過ごす時間。うれしい出来事に心が弾む瞬間。
思いどおりにならず、悩んだり、立ち止まったりする時間。
その一つひとつが、私たちにとっての学びの場になります。

学校の支援部として、子どもたち一人ひとりの思いや気づきを大切にし、ご家庭と共に成長を見守ってまいります。そして、私自身も日々の生活を「道場」と捉え、素直で真っ直ぐな心を忘れず、共に学び、成長していきたいと思います。

支援部通信　秋号

心と体を整えて、次の一歩へ

～毎日の積み重ねが、自信と自立につながります～

体育大会が無事に終わり、学校生活も次のステージへと進んでいます。
秋から冬にかけて、気温の変化が大きくインフルエンザや新型コロナウイルスも流行しています。体調を崩しやすい時期です。
ご家庭でも、子どもたちの心と体の様子に目を向けていただければと思います。



1 寒暖差の大きい季節、心と体の調子を整えよう



今の時期におすすめ

急な気温低下や、インフルエンザ・新型コロナウイルスの流行もあり、体調を崩しやすい時期です。
生活リズムを整え、体調の変化に早めに気づけるようご家庭でも見守りをお願いします。

家庭でできること

- 睡眠・食事・衣服の調節をする
- 疲れや不調を言葉で伝える
- いつもと違う様子に気づく



2 現場実習に向けて ～家庭で育む「働く力」～

学校の特色を生かせる

実習前の今だからこそ、家庭での生活習慣と卒業後の自立を結びつけていきましょう。

家庭でできること

- 決まった時間に起きる
- 身だしなみを整える
- あいさつや返事をする
- 困ったときに相談する
- できることは自分で取り組む



3 体育大会を振り返って ～結果だけでは見えない成長～

体育大会が無事に終わり、子どもたちの頑張る姿や仲間と協力する姿など、行事の中で見られた成長を振り返ります。

こんな姿が見られました

- 苦手なことにも挑戦した
- 友達と協力した
- 最後まで参加した
- 気持ちを切り替えて取り組んだ



結果だけでなく、取り組む過程や本人なりの努力にも目を向けていきましょう。

4 来年度の受験を希望する生徒の体験入学がありました

本校に、来年度の受験を希望する生徒が体験入学に来校しました。実際の学校の様子や授業、施設を見学し、本校の教育について知っていただく機会となりました。

支援部としては…

見学に来られた生徒さんの様子や気になる点を情報共有し、今後の進路支援や学校づくりに生かしていきます。



進路選択は、本人の希望と適性、必要な支援を知ることが大切です。
ご家庭でも、今後の進路について話す機会をもってみてください。

5 「自分でできた」を増やす、ちょっとした関わり方

日常生活の中で、保護者が少し意識するだけでできる支援を紹介します。



先回りして手伝いすぎない



一度に多くのことを伝えない



選択肢を示して本人が選ぶ機会をつくる



できたことを具体的な言葉で伝える

支援部からのひとこと

子どもの成長は、目に見える大きな変化ばかりではありません。
日々の小さな積み重ねが、未来につながります。
学校と家庭が連携しながら、一人ひとりの「できる」を一緒に見つけていきましょう。